

道を往く

近鉄線「瀧谷不動駅」から瀧谷山に向かう道中には石造の道標が数本ある。風雨に堪えて歴史を感じさせるその道標には、寺の方角と距離が示されている。瀧谷山に関する道標がどの程度の範囲に、どの程度の数で現存しているのかは熟知していない。ぜひ詳しい郷土史家の方などにお尋ねしたいものである。

道標は起点とする場所と重要な街や場所をつなぎ結ぶためのナビゲーターとして古来より旅人にとっては欠かせぬものであった。これは信仰においても同様で、とりわけ有名なものは世界遺産に指定される「高野町石道」の道標である。九度山の慈尊院から高野山根本大塔を経て奥の院に至る二十数キロ間に建

つ五輪塔婆形の数は三百を超える。一つ一つの石塔婆には距離（町数）と共に諸仏の梵字が刻まれて尊嚴さを具えている。いにしえの時代か�数本ある。風雨に堪えて歴史を感じさせるその道標には、寺の方角と距離が示されている。瀧谷山に関する道標がどの程度の範囲に、どの程度の数で現存しているのかは熟知していない。ぜひ詳しい郷土史家の方などにお尋ねしたいものである。

道標は起点とする場所と重要な街や場所をつなぎ結ぶためのナビゲーターとして古来より旅人にとっては欠かせぬものであった。これは信仰においても同様で、とりわけ有名なものは世界遺産に指定される「高野町石道」の道標である。九度山の慈尊院から高野山根本大塔を経て奥の院に至る二十数キロ間に建

つ五輪塔婆形の数は三百を超える。一つ一つの石塔婆には距離（町数）と共に諸仏の梵字が刻まれて尊厳さを具えている。いにしえの時代か數本ある。風雨に堪えて歴史を感じさせるその道標には、寺の方角と距離が示されている。瀧谷山に関する道標がどの程度の範囲に、どの程度の数で現存しているのかは熟知していない。ぜひ詳しい郷土史家の方などにお尋ねしたいものである。

道標は起点とする場所と重要な街や場所をつなぎ結ぶためのナビゲーターとして古来より旅人にとっては欠かせぬものであった。これは信仰においても同様で、とりわけ有名なものは世界遺産に指定される「高野町石道」の道標である。九度山の慈尊院から高野山根本大塔を経て奥の院に至る二十数キロ間に建

戒にあらざれば寧んぞ到らんや

（『弘仁の遺誠』）

（文意・遠方に出かけようと思えば、この脚を運ばない限り目的地には着かない。同様に仏教を志す者はならば仏教徒としての戒を保たずして悟りの境地に到達できるはずがないこと）。すなわち仏教徒におけるコンパスとは「戒」に他ならないと弘法大師は明示される。戒の内容は多岐にわたるが、その要諦は三帰依戒（仏法僧の三宝に帰依すること）に極まり、顕密共通の戒となる十善戒に摂するものである。この世には様々な宗教が説示されてきたが、仏教徒であるか否かの見判然とする。私たちが寺々の宝前でこの掌を合わせる真意こそ、この



発行所
瀧谷不動明王寺
〒584-0058
富田林市彼方1762
電話 0721-34-0028
振替 00930-5-177704
●発行人 人
●編集人 荒谷純光

二月一日 節分会のご案内／節分会厄除けのご祈祷
如意宝珠のお授け／星まつりのご祈祷
お護摩祈祷／お護摩祈祷の時刻／
新型コロナウイルスに対する安全対策（本堂入堂制限のお願い）— 4 頁
ご祈祷料について／郵送申込について
お寺のこはん／鐘楼堂修復／奉讀お願ひ
経典解説
一月二十八日 初不動大法会のご案内／「大般若転説」とは
開創一千二百周年記念事業完成のご報告
お寺のこはん／鐘楼堂修復／奉讀お願ひ
今後の当山行事予定

2 頁
3 頁
4 頁
5 頁
6 頁
7 頁
8 頁
9 頁
10 頁
11 頁
12 頁
13 頁
14 頁
15 頁
16 頁
17 頁
18 頁
19 頁
20 頁
21 頁
22 頁
23 頁
24 頁
25 頁
26 頁
27 頁
28 頁
29 頁
30 頁
31 頁
32 頁
33 頁
34 頁
35 頁
36 頁
37 頁
38 頁
39 頁
40 頁
41 頁
42 頁
43 頁
44 頁
45 頁
46 頁
47 頁
48 頁
49 頁
50 頁
51 頁
52 頁
53 頁
54 頁
55 頁
56 頁
57 頁
58 頁
59 頁
60 頁
61 頁
62 頁
63 頁
64 頁
65 頁
66 頁
67 頁
68 頁
69 頁
70 頁
71 頁
72 頁
73 頁
74 頁
75 頁
76 頁
77 頁
78 頁
79 頁
80 頁
81 頁
82 頁
83 頁
84 頁
85 頁
86 頁
87 頁
88 頁
89 頁
90 頁
91 頁
92 頁
93 頁
94 頁
95 頁
96 頁
97 頁
98 頁
99 頁
100 頁
101 頁
102 頁
103 頁
104 頁
105 頁
106 頁
107 頁
108 頁
109 頁
110 頁
111 頁
112 頁
113 頁
114 頁
115 頁
116 頁
117 頁
118 頁
119 頁
120 頁
121 頁
122 頁
123 頁
124 頁
125 頁
126 頁
127 頁
128 頁
129 頁
130 頁
131 頁
132 頁
133 頁
134 頁
135 頁
136 頁
137 頁
138 頁
139 頁
140 頁
141 頁
142 頁
143 頁
144 頁
145 頁
146 頁
147 頁
148 頁
149 頁
150 頁
151 頁
152 頁
153 頁
154 頁
155 頁
156 頁
157 頁
158 頁
159 頁
160 頁
161 頁
162 頁
163 頁
164 頁
165 頁
166 頁
167 頁
168 頁

今後の当山行事予定

初不動大法会（1月28日）

●御本尊開扉大護摩供（お護摩祈祷）
午前6時・10時・11時30分・午後1時30分・3時

【大般若経転読法要】午前11時30分

●開運厄除福豆授与 1月中旬～2月2日まで

節分会（2月2日）

●お護摩祈祷 午前7時・9時30分・10時30分・11時30分・午後1時30分・3時

●星まつりのご祈祷 午後5時（お護摩祈祷と併修）

●如意宝珠のお授け 午前9時～午後4時

●開運福豆まき式 中止

●甘酒のお接待 中止

●交通安全祈願 節分当日はお勤めしておりません。

花まつり（3月28日～4月8日）

明王殿年祭（4月1日）

●甘茶のお接待 中止

※行事予定は11月15日時点での予定です。今後、新型コロナウイルスの感染拡大等により変更する場合があります。
詳しくは瀧谷山公式ホームページなどで随時ご案内いたしますので、ご確認ください。

新型コロナウイルスに 対する安全対策

瀧谷山では厚生労働省が示す「新しい生活様式」を踏まえ、皆様が安全にお参りしていただけるよう左記の対策を実施しています。

・諸堂および施設の換気

・本堂内参列席の間隔確保

・受付の飛沫対策

・アルコール消毒液の設置

・職員のマスク着用

ご参拝の皆様には、マスク着用や手洗いなどの感染予防のほか、発熱があるなど体調のすぐれない場合は参詣をお控えくださいま

すよう、ご協力をお願いま

します。

日々のお護摩祈祷

(平日) 午前7時・10時・11時30分

(土・日・祝) 午前7時・10時・11時30分・午後1時30分・3時
(毎月28日) 午前6時・10時・11時30分・午後1時30分・3時

お正月から節分まではお護摩の時刻が変わります。4頁・5頁をご確認ください。

交通安全祈願

午前9時より午後4時まで

毎時0分／30分の30分毎
(毎月28日および2月2日はお車の安全祈願はございません)

仏具磨きの日のお知らせ

1月25日 2月25日 3月25日 4月26日

この日は仏具磨きの日ですので、お護摩祈祷は朝7時のお勤めだけです。



- 如意宝珠のお授けは、対面でのお授けとなります。感染症対策を実施いたしますが、皆様にはマスクの着用、手指の消毒をお願いいたします。
- 時間 午前9時～午後4時
- 場所 客殿棟特設道場



如意宝珠のお授け

令和三年九曜星早見表(数字は数え年)											
星まつりのご祈祷											
○木曜	●火曜	●計都	●羅睺	大凶	六白	1					
○月曜	大吉	大吉	大凶	大凶	大吉	末吉	半吉	七赤	八白	九紫	一白
9	8	7	6	5	4	3	2	11	10	19	
18	17	16	15	14	13	12	11	20	19		
27	26	25	24	23	22	21	20				
36	35	34	33	32	31	30	29	28			
45	44	43	42	41	40	39	38	37			
54	53	52	51	50	49	48	47	46			
63	62	61	60	59	58	57	56	55			
72	71	70	69	68	67	66	65	64			
81	80	79	78	77	76	75	74	73			
90	89	88	87	86	85	84	83	82			
99	98	97	96	95	94	93	92	91			

●ご祈祷料 一名 5百円
●お申し込み 事前受付
同封の申込用紙に氏名・年齢



星まつりのお札

節分会当日、意のままにあらゆる願いをかなえるとされる宝物、「如意宝珠」のお授けをいたします。
弘法大師は、如意宝珠について「自然道理の如來の分身なり」と述べられ、この如意宝珠は、限りない慈悲の心をもつた仏の御身そのものであると説かれています。弘法大師以来、如意宝珠は真言宗最極の秘物とされ、当山でも平素は秘して大切にお祀りしておりますが、ぜひとも皆様に如意宝珠の大きなご利益に与かつていただきたいという思いから、一年に一度だけ、節分会に皆様にお授けしております。

●お授けの後、如意宝珠守を授与いたします。一体、千円以上のご志納をいただいております。

如意宝珠のお授け

節分は、旧暦で一年の節目となる日。瀧谷不動尊では、様々な厄除けの行事が行われます。



- 今年の節分は暦の巡りにより二月二日(火)となります。
- 今年は、新型コロナウイルス対策により、開運福豆まき式・甘酒お接待は中止となります。

◆二月二日 節分会 ◆

節分会 厄除けのご祈祷

厄年は、肉体的精神的・社会的な節目にあたる年齢です。瀧谷不動尊では、厄年を無事に過ごし、災難を避けられるよう、厄除けのご祈祷をお勤めしております。節分当日は、特に盛大にお勤めいたします。

●厄除けのご祈祷は、お護摩祈祷にて行います。

●ご祈祷料、ご祈祷の時刻等は、4頁および5頁をご確認ください。

厄年 早見表(年齢は数え年)

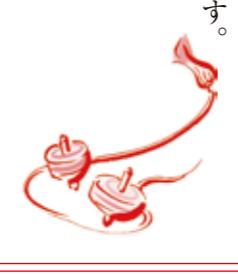
男性		女性	
平成 9年生まれ	25才	厄年	19才
昭和56年生まれ	41才	前厄年	32才
昭和55年生まれ	42才	本厄年	33才
昭和54年生まれ	43才	後厄年	34才
昭和36年生まれ	61才	厄年	37才
			昭和60年生まれ
			昭和64年生まれ
			昭和63年生まれ
			平成元年生まれ

星まつりのご祈祷は、願いおき

(お預かり祈祷)となります。お札は、ご祈祷した後、後日郵送いたします。

厄年とは……

厄年は、社会的な地位を持ち始める年齢に当たり、仕事で責任が重くなるなど、無理や負担がかかる病気になりやすい年齢、また結婚・出産・育児など生活の環境が大きく変化する年齢とも言われています。特に男性の四十二歳・女性の三十三歳は本厄と言われ、前後にひびく厄とされています。



● 節分 福豆まき・甘酒お接待
中止のお知らせ
コロナウイルス感染防止の観点から、残念ながら本年の福豆まきは、中止させていただきます。また同様に甘酒のお接待も中止いたします。

● 節分 福豆まき・甘酒お接待
混雑状況について
例年一月の土・日・祝日や、節分当日はお参りの方が多く混み合います。
平日は、余裕がございます。
三密防止の観点から、混雑を避けてお参りされることをお勧めいたします。

開扉大護摩供			開扉大護摩供			開扉大護摩供			開扉大護摩供			開扉大護摩供			
一年祈祷	開扉大護摩供	半年祈祷	三ヶ月祈祷	一ヶ月祈祷	三週間祈祷	一週間祈祷	当座祈祷	期間	ご祈祷料	お札	ご祈祷料	お札	ご祈祷料	お札	ご祈祷料
10万円	6万円	3万5千円	1万5千円	1万2千円	7千円	5千円	5千円	長さ	26.2cm	30.3cm	36.3cm	42.5cm	47.9cm	同右	同右
510円	510円	510円	510円	510円	210円	210円	210円	送料	長さ	30.3cm	36.3cm	42.5cm	47.9cm	同右	同右

● 節分 福豆まき・甘酒お接待
中止のお知らせ
コロナウイルス感染防止の観点から、残念ながら本年の福豆まきは、中止させていただきます。また同様に甘酒のお接待も中止いたします。

入堂制限のある日		
1月	元日・三ヶ日および土日祝	1月・三ヶ日および土日祝
2月	3日(日)・9日(土)・10日(日)	3日(日)・9日(土)・10日(日)
	11日(月・祝) 成人の日	11日(月・祝) 成人の日
	16日(土)・17日(日)	16日(土)・17日(日)
	23日(土)・24日(日)	23日(土)・24日(日)
	28日(木) 初不動	28日(木) 初不動
	30日(土)・31日(日)	30日(土)・31日(日)
	2月(火) 節分	2月(火) 節分

お願い事の例									
家内安全	身体健全	厄除開運	災難消除	社運隆昌	商売繁昌	試験合格	心願成就	眼病平癒	当病平癒
良縁成就	安産如意	息災延命	報恩謝徳	等					



17時	15時	13時30分	11時30分	10時30分	10時	9時30分	7時	6時	迎春期間 (2月15日まで)
○	○	○			○		○		平常
		○			○		○		平日 (2月16日以降)
○	○	○			○		○		土・日・祝 (2月16日以降)
							○		1月25日 (おみがきの日)
○	○	○			○				1月28日 初不動大法会
○	○	○			○		○		2月2日 節分会

※おみがきの日は毎月25日(日・祝の場合は翌26日)です

お護摩祈祷の時刻

新型コロナウイルスに対する安全対策による安全対策

お護摩祈祷は弘法大師以来、真言宗に伝わる秘法です。炉の中にお不動様の智慧の火を燃やし、お願ひ事を祈願いたします。

新規コロナウイルスに対する安全対策として、お護摩祈祷の際、本堂への入堂制限を実施いたします。お正月から節分にかけてお参りされる方が多い次頁の日には、本堂への入堂はご祈祷申込のお施主様だけに限らせていただきます。付き添いのお連れ様は寺務棟または客殿棟内に待合所をご用意いたしますので、ご祈祷の間は分かれてお待ちいただくようお願いいたします。

尚、小さなお子様や介助の必要な方は、保護者・介助者お二人まで一緒におりいただけます。

また、状況に応じて内容が変更する場合がありますので事前にお問い合わせください。

電話(0721)3410028



郵送申込について

瀬谷不動尊ではお護摩祈祷の郵送申込の受付を行っております。ご希望の方は、左記の必要事項をご記入のうえ郵便、又はファックスでお申し込みください。ご祈祷札が届きましたら、同封の払込取扱票で郵便局にてご送金ください。

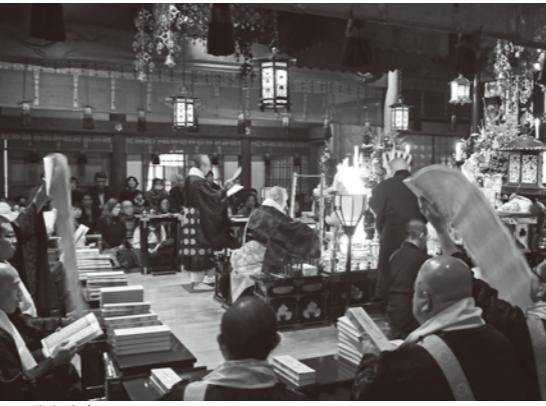
- 必要事項
- 一、お名前(フリガナ)
- 二、住所
- 三、生まれ年
- 四、お願い事
- 五、ご祈祷料
- 六、郵送先住所
- 七、電話番号
- 八、問い合わせ

〒五八四一〇〇五八
大阪府富田林市彼方一七六一一番地
瀬谷不動明王寺
電話(0722)三四一〇〇二八
ファックス(0722)三五一〇〇二八

※お札郵送時の送料と、送金時の手数料はご自身でご負担願います。
※お送りの都合上、お下がりは御洗米に限らせていただきます。

一年のうちで最初のご縁日である一月二十八日には初不動大法会が営まれます。当日は午前十一時半より大般若經転読付大護摩供をお勤めし、国家安穏・万民豊樂等を祈念し、あわせてご信徒の皆様のお願い事を祈願いたします。

皆様にはぜひ初不動大法会にご参拝いただき、お不動様とのご縁を深められますよう、ご案内申し上げます。



初不動大法会

經典解説 三摩耶戒(2)

三摩耶戒

發菩提心真言

おんぼうぢしつたばだはだやみ

三摩耶戒真言

おんさんまやさとばん

『灘谷山礼拝法則』の解説。前回から「三摩耶戒」というテーマに入りました。そこでお唱えする二つの真言のうち、前回は「發菩提心真言」を取り上げました。今回は「三摩耶戒真言」を見ていきます。

この真言は、「私は三摩耶戒を守ります」という誓いを立てる真言です。三摩耶戒の内容は、端的に言えば「菩提心を捨てない」ということ。

「菩提心」とは前回見てきたように、仏道修行のゴールである「さとり」を求めて努力する心であり、他の幸せのために努力する心です。三摩耶戒を授かるにあたっては、発

菩提心真言と三摩耶戒真言はセットであり、發菩提心真言をお唱えして菩提心を發し、次に三摩耶戒真言をお唱えして菩提心を保つことを誓います。

ただ実際には、この三摩耶戒真言は一言では説明の出来ない難しい真言です。「三摩耶」とは、一つには「誓い」や「約束」といった意味があります。この「等しい」「同じ」という意味があります。この「等しい」とは説明の出来ない難しい真言には、「菩提心を捨てないなら、教えが秘められている」とされます。とはい、ふつう、仏さまと私たちには絶対的な隔たりがあると考えるのが当たり前です。「仏さまと私たちが等しい」というのは、およそあり得ないことのように思えます。

少し強引かもしませんが、また少し強引かもしませんが、まことに驚き、心が晴れやかになり、いつもスポーツを例にとって考えてみます。スポーツをする時には「公正なルールを守り、競技を楽しむ」という理念があります。そして、この理念にのつとつていてる限り「プロ選手のプレーも、初心者のプレーも等しい」というのがスポーツの良いところだと思います。素晴らしい技術を持つたプロのプレーでも、八百長やズルがあれば試合としての価値は無いとされるし、たとえ技術が未熟であつても、公正な試合であれば子供のスポーツ大会にも人を熱狂させる力があります。技量は違つても、同じようにひたむきに競技に打ち込む姿が、その人を特別なものにするのだと思います。

この「大般若転読」とは……：

この「大般若転読」において読まれる『大般若經』は、正式な名前を『大般若波羅蜜多經』といい、西遊記に登場する三藏法師のモデルとして有名な、唐の玄奘三藏によって印度から中国へともたらされました。そこから玄奘三藏は四年という歳月を費やし、巻数は六百巻、文字数にして約五百万字にも及ぶ膨大なこの經典をインドの言語から漢文へと翻訳しました。『大般若經』はほどなく日本へも伝えられ、しばしば法会において読誦されてきました。

声に出して經典を読むことを持つといわれますが、今の転読を読經・読誦などといいますが、經典読誦はお釈迦さまの時間が必要です。そこで編み出されたのが「転読」です。「転読」という語は古来複数の意味を持ったといわれますが、今の転読は經典の首題・巻名・尾題やどこか一節など、特定の部分のみ



「大般若転読」では大勢の僧侶が集まり、六百巻分の蛇腹折りの經本を大きく宙に広げるようになります。このように、声に出して經典を読み上げることそのものが経本が開かれ、高い位置から落とすとても意義深いことなのです。

教えやさとりの内容を辿る行を読む「草転」と呼ばれる略読法は、もあり、写經と並び、大変によつて行われるのが一般的で功徳のあることとされてしまつ。こうすることで限られた法会時間の中でも全巻読み上げた事ができます。一齊にたくさんの経本を大きく宙に広げるようになります。こうして起こる風をその身にうけると長寿がかなう、厄除けになるともいわれています。

「大般若転読」では大勢の僧侶が集まり、六百巻分の蛇腹折りの經本を大きく宙に広げるようになります。このように、声に出して經典を読み上げることそのものが経本が開かれ、高い位置から落とすとても意義深いことなのです。

教えやさとりの内容を辿る行を読む「草転」と呼ばれる略読法は、もあり、写經と並び、大変によつて行われるのが一般的で功徳のあることとされてしまつ。こうすることで限られた法会時間の中でも全巻読み上げた事ができます。一齊にたくさんの経本を大きく宙に広げるようになります。こうして起こる風をその身にうけると長寿がかなう、厄除けになるともいわれています。

教えやさとりの内容を辿る行を読む「草転」と呼ばれる略読法は、もあり、写經と並び、大変によつて行われるのが一般的で功徳のあることとされてしまつ。こうすることで限られた法会時間の中でも全巻読み上げた事ができます。一齊にたくさんの経本を大きく宙に広げるようになります。こうして起こる風をその身にうけると長寿がかなう、厄除けになるともいわれています。

総事業費十二億円 客殿棟・寺務棟新築

令和 三年 開創一千二百年 記念事業完成のご報告

当山の開創一千二百年祝祷法要記念事業として進めておりました寺務棟・客殿棟の新築工事は昨年中に完成し、落慶法要前ながらこの度の新年行事にお使いいただく事が出来ました。客殿大広間には皆様の笑顔があふれ、大変有り難いことありました。

作庭等いまだ工事中の所もありますが、

今後も節分の如意宝珠お授け道場・お護摩中の待合所などにも使いながら、春の落慶を迎える準備を進める予定でございます。

皆様にはすでにご案内の通り、寺務棟には八畳四間の控え室・男女トイレ・小和室・中和室・大広間が完成いたしました。ご信徒皆様方には何かとご多端の中ご信援を賜りましたこと、心より厚く御礼申し上げます。

尚、厚かましいお願いで眞に恐縮ながら、本年五月の落慶法要に向けて引き続き記念事業ご奉讃の受付をいたしておりますので、何卒宜しくお願ひ申し上げます。

今年五月の落慶法要に向け引き続き記念事業ご奉讃の受付をいたしておりますので、何卒宜しくお願ひ申し上げます。



講堂内陣



完成した寺務棟・客殿棟

お寺のごはん

3 ほうれん草と柿の白あえ



三、柿は皮をむいて、ほうれん草と同じくらいの長さのうすい短冊に切つておきます。

●仕上げ

お豆腐を軽くつぶしてお砂糖、お醤油で味をつけて先に用意した具材をあえます。

〈余談〉

お豆腐を軽くつぶしてお砂糖、お醤油で味をつけて先に用意した具材をあえます。

そんな中からこの度はお豆腐をあえごろもとして用いた白あえです。

あえる具材や味付けに工夫することによつてお惣菜としてだけではなく、ご馳走にもなりバリエーションが豊かですが、今回はシンプルな一品です。

●下ごしらえ
ほうれん草 柿 豆腐

一、お豆腐はまな板にのせて斜めに傾けて軽く水気をきります。
二、ほうれん草は下ゆとして四センチくらいに切ります。

鐘楼堂修復ご奉讃お願い

当山の梵鐘は天明八年(西暦一七八八年)铸造で、現在の鐘楼は大正二年、当山に移築されたものです。以来、たくさんの人手によって撞かれ、朝夕妙響を鳴り渡らせてまいりました。しかしながらこの度のコロナ禍を受け閉鎖して調査をいたしましたところ、屋根の老朽化がひどく梵鐘の反響により瓦が落下する可能性があるとの診断を受けました。

このままでは新年を迎えるがたく、鐘楼の瓦屋根を急遽葺き替えることとなりました。工事は昨年中に瓦を下ろし、本年五月の落慶法要までに葺替えを終える予定でございます。

(梵鐘は例年同様お撞きいただけます)

また基壇も長年の間に損傷が進んでおりますので、併せ修復することになりました。皆様には何かとご多端のところまことに恐縮に存じますが、鐘楼の修復にご協力をお願ひ申し上げる次第でございます。何卒宜しくお願ひ申し上げます。

記

一、ご奉讃 一口 5千円
一、御芳名を山報にて
顕彰させていただきます。

